

番号 (都道府県順)	応募者名 (建築主等)	応募者名 (協議会運営者)	応募事業名	実証の種類	CLTの主な使用方法	実証する内容	RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	建設地	建築物概要	担当者氏名
1	三菱地所株式会社 代表執行役 吉田 淳一	同左	(仮称)豊島区西池袋5丁目プロジェクトの設計実証	設計	構造体	次年度の施工に向け都内初の高層集合住宅をCLTと鉄骨の混構造で設計する。本事業においては特に耐火被覆コストの低減を実証する。具体的には、昨年度に新たに取得した床CLT湿式1時間耐火大臣認定を実建物設計に初採用し、床CLTの下面側強化せつこうボードの張り手間コストを低減する工法の開発等を実証し課題解決を目指す。	他工法で類似の用途・規模の設計実績が豊富にあり、本事業で実証するCLTを用いた建築物とS造、RC造で設計した場合について、総コスト、工期等を比較するとともに、本事業の目的の一つである耐火被覆コストを検証結果も踏まえて材料コスト、施工コストの点から分析し、現時点で最も廉価で簡易な耐火被覆仕様を構築する。	東京都豊島区	用途:集合住宅 構造:S造+CLT床(ル-3) 階数:6階建て 延べ面積:1138.53㎡ 工事種別:新築 竣工予定:H32.2	三菱地所株式会社 住宅業務企画部 柳瀬 拓也
2	学校法人 桐朋学園 理事長 河原 勇人	株式会社隈研吾建築都市設計事務所 代表取締役 横尾 実	桐朋学園大学仙川キャンパス第二期工事の設計・性能実証	設計、性能	構造体	CLTパネルを用いた折板構造による音楽ホールを含む大学施設の計画である。高天井の折板構造で構成する。CLTパネル面が直接音響反射板を兼ねる計画とすることで、反射板としての内装仕上げ材を最小限とし、コスト削減効果を検討する。また、ホールの天井・壁について耐火性能検証法等を検討しCLTパネルを現して計画できるように検証する。	RC造のホールの設計実績を元に、CLT折板構造のホールにおける音響環境・構造強度・施工方法の検討・比較を行う。また、地上部分を全て木造とすることで、RC造の建物に比べ軽量化・杭を無くし、総コストの低減を検討する。	東京都調布市	用途:大学(音楽ホール) 構造:地階RC造+CLT折板構造(ル-2) 階数:地上3階+地下1階建て 延べ面積:2600㎡ 工事種別:新築 竣工予定:H32.11	株式会社隈研吾建築都市設計事務所 寺川奈穂子
3	大成建設株式会社 代表取締役 社長 村田 誉之	大成建設株式会社 技術センター 執行役員 技術センター長 長島 一郎	実験施設新築工事の建築設計実証	建築	構造体	この2年間で接合部実験やモックアップ施工実験により特性値等を確認してきた。今年度はCLT面トラス架構の施工を行い建築実証する。また躯体完成後のCLT架構の寸法変化等の測定を行う。協議会においては、具体的な納まりや仕上げ方法等のほか、商品化に向けた今後の展開について議論する。	他工法での類似の用途・規模の建築物の施工実績が豊富であり、本事業で実証するCLTを用いた建築物とS造で建築した場合について、コストを比較するとともに、本事業における材料調達、施工工程・手法等の課題を分析する。	神奈川県横浜市	用途:研究所 構造:CLT展開構造(時刻歴応答解析) 階数:2階建て 延べ面積:487㎡ 工事種別:新築 竣工予定:H31.5	大成建設株式会社 技術センター 都市基盤技術研究部 相馬 智明
4	学校法人 八木学園 理事長 八木 良明	松阪木材株式会社 代表取締役 村林 稔	学校法人 八木学園 英心専門学校 新校舎建設工事の建築実証	建築、設計	構造体	学校施設をCLTパネル工法で設計する。壁パネル接合部に鋼板挿入ドリフトピン接合を採用し、実建物での意匠性、施工性についての検証を行う。CLT用ラミナは県産材とし、間柱等に使用する流通サイズを用いる。運搬には既存流通ルートを使用する事で運賃を削減し、県産材CLTの製造コスト削減方法を検証する。また、RCで計画した場合のコスト比較に加え、環境負荷に対する優位性を検証する。	RC造で造った場合との、コスト比較・工期比較・環境負荷(CO ₂ 排出量)比較を行う。	三重県伊勢市	用途:学校(専修学校) 構造:CLTパネル工法(ル-1) 階数:2階建て 延べ面積:403.06㎡ 工事種別:新築 竣工予定:H31.3	松阪木材株式会社 大道寺 聡
5	有限会社キューベックス 代表取締役 藤嶋 正美	株式会社智原聖治アトリエ 一級建築士事務所 代表取締役 智原 聖治	W2(ウィルブツー)プロジェクトの建築実証	建築	構造体	4層のCLTパネル工法告示仕様(ル-3)での合理的な構造手法を検討しつつ、汎用性金物での接合を極力採用する。また、パネル工法の狭小地建設を協議会を通じて検討し、効率よい施工を行う。結果的に、不動産開発事業において、既存工法(今回は壁式RC工法)とコスト比較し、合理性を測る。	構造部材の価格差、工期の短縮、安全性と施工性(車両の運搬や停車、作業ヤード、楊重、仮設などの計画)を協議会で検証しながらプロジェクトの合理化を進めていく。現状CLTパネル工法が壁式RC工法よりコスト高になっているが、各工所要領の明確化と効率化により、総工費で差異を少なくしていく。最終的に、どのような条件整備によって壁式RC工法と同等のコストになるか把握する。	福岡県福岡市	用途:共同住宅 構造:RC+CLTパネル工法(ル-3) 階数:5階建て(2~4F CLT) 延べ面積:822.26㎡ 工事種別:新築 竣工予定:H31.3	株式会社シェルター 東京支社 林 隆